

天体への関心を高める天体イベント ～2014年版～

(1) 子供たちの天体への関心を高めるために

本内容の学習を進めるに当たって、子供たちに実際に月や星を観察する機会を多くもつようにし、天体の美しさを感じとる体験の充実を図ることが考えられます。その中で、天体現象の中には、その年におきる〇〇年ぶりの天体現象もあるはずですが、その天体現象と本内容の学習する時期が重なれば、子供たちにとっても天体への関心が高まり、印象深い学習になることでしょう。2014年においてもいくつかの天体イベントがあるようです。例えば、2014年は、1月1日と新月が重なり、19年ぶりのことでした。そんなことも意識して夜空を見上げれば、また違った天体に見えると思います。いくつか2014年の天体イベントについて紹介いたします。

(2) 8月11日(月) スーパームーン

8月11日(月)はスーパームーンです。2013年6月23日もそうでしたので、その時に見た子供たちもいるかもしれませんね。スーパームーンとは、満月の中で見かけの大きさが一番大きくなる日です。月が地球を周回する軌道は、楕円の形をしています。そのため月は公転しながら、地球に近づいたり遠ざかったりしています。8月11日には月が地球に近づいたときの満月になります。意識して観察すれば、常に見ている月より大きく見えることが分かると思います。



筆者が写したスーパームーン

(3) 10月8日(水) 皆既月食

2013.6.23

10月8日(水)の夕方から宵にかけて、月が地球の影に完全に入り込む皆既月食が起こります。ほぼ日本全国で月食の始めから終わりまでを見ることができるのは、およそ3年ぶりです。4月15日(火)にも皆既月食が起こりますが、皆既の状態は日本から見ることはできません。

(4) 9月8日(月) 中秋の名月

中秋の名月とは、旧暦8月15日のお月様のことです。特別な天文現象ではありませんが、毎年お月見をしている人も少なくないはずですが、今年の中秋の名月は、9月8日(月)です。9月のはじめといえば、気がかりなのは残暑です。月光が冴えわたる涼しい夜を期待したいところです。

(5) 三つの流星群

2014年は三つの流星群と出会うことができそうです。

1月4日頃「しぶんぎ座流星群」

8月13日頃「ペルセウス座流星群」

12月14日頃「ふたご座流星群」

「しぶんぎ座流星群」については、過日のことになってしまいましたが、もう二つはこれからのことです。星空の中でも、流れ星は特別な存在だと思います。子供たちが休み時間に、天体について語る姿も、素敵だと思います。

(所属：福島県教育センター 遠藤謙一)